

# 求める会ニュース No. 951

3月全体会報告  
 3月14日(水) 10:00~12:30

## 検討事項

### 1、新年度の代表、副代表

- ・代表：大野貞枝 副代表：2名ずつの交代制。
- ・2018年度代表、副代表、世話人募集に対しては応募、推薦はありませんでした。

### 2、野菜の値上げ、その他

- ・オランダ、スナップ えんどう：250g (200円) → 200g (200円) 可決
- ・大根 B級 2本で800g (100円) → (150円) 可決。苦情のある時は事務局まで。
- ・**新野菜**：ベビーリーフ 50g (120円) 希望。価格は市有研と相談。

### 3、日本有機農業研究会が主催、展開する提携=PGSについて

- ・PGSに対する求める会会員の理解を深めていきたい。

### 4、今後の会の進め方について

- ・高齢化など、求める会の問題点に対処していくため、提携している生産者と今後について話し合いをし、解決したい。また、「あしの会」との連携についても話し合う必要もある。
- ・体力のあるうちに出来るだけのことをし、活動などのことも話し合いたい。

### 5、総会について

日時：5月19日(土)に変更

### 6、収穫感謝祭について

神戸学生青年センターが来年3月以降に移転の予定：事務所などは貸してもらえようだが、従来通りの感謝祭は今回最後になることも考えられる。

## 報告事項

### ① 活動部各担当から

#### 【生産者担当】

\*野菜：3月のコンテナ数・計419  
畑のようす

・いよいよ野菜がなくなり、3月27日より端境期に入る。5月第2週より通常配送。3/27(火)配送なし・3/29(木)配送あり・3/30(金)配送あり・4/3~・・交互になります。5/1(火)あり・5/3(木)なし・5/4(金)あり

#### 詳しい配送表を会員に配布

○野菜補充：「あしの会」取扱いの生産者の野菜を2、3品端境期のコンテナに補充する。

#### \*米

・今は田の乾くのを待っています(高木さん)。

#### \*卵

・順調に産卵しています。端境期の始まる前の週は倍量になります。

#### \*果物

・今日の全体会にりんご生産者の小松三剛さんがみえます。(3面を参照)

#### 【会員担当】

・3月会員数 226名

#### 【事業部】

- ・全体会の後の即売：定番品、渡辺水産の干物、ワキダ 丹波のパン、煮干し、干し海老。
- ・ワキダ 丹波のパン：一律10円値上げ。

#### 【広報、庶務担当】

・印刷：3月28日(水)セミナーの後ニュースが月1回なので、お知らせなどに合わない場合は、印刷物を配布したい。

#### 【学習・研究担当】

- ・福島のびのび園支援は本年度まで。
- ・**新しい支援先**：いわき市の「ママベクの会」。(3月のママベク集会にりんごを送った)6月の食料環境セミナーの講師に代表の千葉由美さんがみえます。

### 【渉外担当】

- ・ 3月9日～10日：第46回日本有機農業研究会全国大会総会
- ・ 3月16日：ネットワーク会議  
兵有研・県・他団体、(出席予定大野)
- ・ 3月18日：灘チャレンジ地元委員会
- ・ 7月1日(日) 灘チャレンジ
- ・ 3月26日10時～16時30分  
兵庫県学校食育研究会  
於兵庫県民会館(会費1000円)

### 【会計担当】

今年度会計監査：日時は未定

### 【実務部】

- ・ パソコン購入について  
事務局のパソコン故障：1台新機購入。
  - \*お知らせ
  - ・ 4月1～2日 菜の花祭、影山製油所訪問  
25名参加
  - ・ 4月11日 部会
  - ・ 4月18日 全体会：司会・岡部 当番・池田、岡 記録・今田。
- 5月は総会開催の月なので、全体会はありません。

## 食料環境セミナー報告

「若者たちの食卓

—写真法から見える日常—

2月28日(水) 10:30～12:00

大正大学心理社会学部人間科学科

教授・長谷川 智子さん

写真法というのは、調査対象者が、携帯(電話)で食事の写真を撮影し、調査者に送信し、それを分析するという手法です。この食写真に映し出されている食事、日常生活や食文化を、背景の時代の変化と重ねあわせ、幼児を持つ母親や中学生の食事と比較も加えて議論するというのが、今回のテーマです。

1960年代以降の食に関わる要因の一つが、女性の就労、母親の就労。90年代に専業主婦と就労主婦が同数になり、現在は、就労主婦の方が多い。ほかには、世帯構成の変化、食産業の発達や、道路交通網の整備、景気動向も影響しているようです。

ただ、専業主婦だから、いつも料理をするかという点、現代はそうではない、という分析結果も。常勤職女性は、朝、夕食の準備をしておく等、見通しを持って行動するのに対して、専業主婦は、イレギュラーな行事に影響されて、時間が

ない時には、購入食でしのぐ等の行き当たりばったりの行動がみられる、ということです。

中学生の夕食の調査結果が圧巻でした。2例あげると、(1) ごはん、刺身、イチゴオレ (2) 鰹のたたき、メンチコロケ、キュウリおしんこ。飲料も含め、購入品が多く、取り合わせがおかしい「ふしぎな」夕食を食べています。

食文化に関して、食事の際、温かいお茶でも、湯呑みは使用せず、マグカップで飲む。また、急須でお茶をいれる習慣はない。食器も購入品のまま代用している例が多かったです。

長谷川先生は、セミナーの冒頭で、変な食事、困ったものだ、という視点からみてほしくない、と言われましたが、私は、実に困ったものだ、と思います。教育の効果もあまりない、と言われましたが、食事は、特に若者は発達時でもあるので、もう少し厳しく管理してもいいのではないかな、と思うのです。

(川西町G 猪飼 孝子)

次回食料環境セミナー

「子どもの健康と食育」

3月28日(水) 10:30～12:00

神戸大学農学研究科 特命助教授

山下 陽子 さん

## 市有研との作付け会議

2018年3月3日 13:00~15:30

参加者：(市有研) 一色さん、大谷さん、橋本慶子さん (求める会) 小浦、岡部  
場所：丹波市立ライブピアいちじま

2月、3月の地域集会で生産者が会員の皆様と直に話し合う機会もあり、これまでの経過とか皆さまの要望とかもお互いに理解できることも多くあったのではないかと思います。昨年「なんでこんなお野菜なの?」「白菜、キャベツは?」「同じものばかり?」という声が多くありました。生産者の話を聞くにつけ、ここ数年の異常気象、災害、害虫、獣害が次々起って、なかなか好転せず、大変なご苦勞をされていると感じます。

今回の春夏作付け会議では、要望としてキュウリ、トマト、ナス等、量を減らすことなく、出来れば一時にならないよう、種まき時期をずらすとか種類を変えて、などをお願いしました。生産者の方もジャガイモ、トウガラシの種類を増やす予定です。キクイモ(体に良い)の作付け、ベビーリーフも端境期対策として作られます。ちょっと変わった“フキノトウ”“タラ”など楽しめるものもたまには入れてほしい、と要望。全コンテナに入れる数量がなくても、大コンテナだけとか、曜日で決めて、など融通してもらえるといいですね。

6月で大谷さんが辞められ、二人体制になられるので頑張ってくださいとエールを送ると同時に、良いお天気に恵まれ、順調に作付け、収穫が出来るよう祈るばかりです。

3月最終週から端境期になり隔週配送です。他の生産者から分けてもらいたくても、同地域では同様に不作で作物が無いという現状です。干し大根、漬物も以前から要望していましたが、お天気、人手不足などで現実化しません。

畑の状況、生産者の様子等、毎月話し合いをしていると担当者としては無理もないとわかることも多いのですが、会員の皆様に対しては説明不足のことが多々あったようです。状況をもっとしっかりお伝えしていきたいと思います。生産者との話し合い、また圃場見学にも皆さまのご参加お待ちしております。(鶴甲団地G 岡部真理子)

---

## 小松三剛さんをお迎えして

2018年3月14日



今年も昨年に続き、小松三剛さんをお迎えしてリンゴのお話などをお聞きしました。一昨年は天候不順で収穫が悪かったけれど、昨年は例年通りの出来具合で、注文に余るくらいの量があったそうです。会員から「先日の追加注文のリンゴも、まだ十分に瑞々しく甘くておいしかった」とうれしい報告があったかと思うと、遠慮がちに「今からの追加も間に合いますか?」との声が…。

収穫後の小松さんの保存方法は屋外にリンゴを置いてシートをかけるやり方。以前お父さんからお聞きしたことのある風穴保存は、風穴にまで運ぶのが大変で、行なっていないとのことでした。

リンゴは他花受粉であり、いわゆる贈答用の立派な商品作りを目指す一般栽培の場合は、中国の輸入(!)花粉を使って人工受粉することもあるのだとか。ちなみに小松さんは昆虫(主に蜂類)による自然受粉です。でも開花があまりに遅いと雌しべが乾いて受粉できなくなり、受粉の適期も2、3日しかないそうです。

リンゴジュースは製造時のリンゴの品種や量によって加工場が変わることがあり、ジュースの透明度(濁り方)もそのつど違ってくるとか。また私たちが贈答用などに別注するリンゴは会員用と同等のもので、大きさなど特別に選り分けてはいない(過去に求める会が要望?)とのことでした。

会員からの質問も落ち着いたところで、求める会ならではの一品持ち寄りの楽しい昼食会。ごちそうさまでした。(中山G 児玉 主恵)

## 冬の地域集会報告

### 西地区（須磨・西区・北区・垂水・明石・加古川・高砂）

2月23日（金）10：00～12：00 アスパシア明石 801B

【参加者】市有研：大谷さん・橋本慶子さん

求める会：高橋（ジェームス山）、藤原（高砂）、田中（北須磨C）、加藤（つつじが丘）、岡（会員担当）、嶋野（朝霧）、庄谷・村川（大久保）、大野（代表）、小原（加古川東）

去年の台風とその後の低温が原因で野菜が少なくなっていることに関して、生産者からは、水菜はいつも半分にしないといけないほどなのに今年は小さい、橋本さん自身も白菜・キャベツを食べていない、鍋には水菜と人参を入れている、薬物は少し暖かくなって大きくなってでもまた寒くなると焼けて茶色くなる、サツマイモは4種類植えたが全滅、ブロッコリー、カリフラワーも全滅一など厳しい状況を伺いました。

よかったことは、橋本さんの鶏舎に野良猫が来るのでエサを与えていたら居ついて、ネズミがいなくなり、ゴキブリもいなくなったとのこと。ネズミは鶏のエサを食べに来て、配線をかじり、漏電すると火事が起こるので、助かっているそうです。

6月から生産者が2人になることについては、普通に収穫できれば配送は2人になっても大丈夫とのこと。

大野さんからは、野菜が少ない時に協力してもらえるように、日頃から出荷組合に入って人間関係を作ってほしい、コープ自然派に出す量が決まっていて先に回して求める会の分が少なくなることはないように、シビアに求める会のことを考えてほしいと要望を出されました。

大谷さんは今回が最後の地域集会でしたが、終始にこやかでした。

（加古川東G 小原恵子）

### 東地区（宝塚・西宮・尼崎・芦屋）

2月24日（土）10：00～12：00 西宮公民館 401号室

【参加者】市有研：大谷さん、橋本慎二さん

求める会：近藤・横山・信長・福井・田中・魚井・堀口・大森（逆瀬川）、池田（松波）、西（武庫之荘）、新原（親王塚）、尾園・東山（松浜）、杉山（センター/呉川町）、大野（潮見）、猪飼（川西町）、今田（亀井町）



自己紹介の後、橋本さん、大谷さんが、異常気象、虫害、獣害が続き、なかなか回復しない市島の現状について話されました。

「30年やっているが、こんな状態は初めて。消費者に迷惑をかけているが、自分たちも苦しい。いつもは9月ごろに来る台風が10、11月に来ると、植えた野菜が風で吹き飛ばされた。今年は雪は少なかったが、低温がひどくて、タマネギも凍死状態だ。今、気を取り直して、夏に向かって頑張っているが、種をまいてもなかなか芽が出てこない状態だ」と橋本さん。大谷さんも「9月ぐらいから寒くなってきた。去年の雪害の影響でハウス野菜が出せない。ハウレンソウも発芽しない。暑さ、寒さが身体にこたえるようになった。昼間でも零下という状態。6月には市有研を辞めるが、小さなハウスで4、5月は薬物が出せるかもしれない」。

消費者側からは、「大谷さんが辞めた後、一色さん、橋本さんで十分な量を出荷できるのか、端境期の時も含めて、他の若い生産者に出荷してもらうような手当てはできないか」、「丹波太郎が阪神間に販売に来ているのを見ると、いろいろバラエティーに富んだ野菜が出ている。そこに出荷している人から、野菜が足りない時にいただくことはできないか」などの意見が出されました。

これに対して生産者からは「多品目少量栽培は将来の見通しが厳しいので、若い有機農業生産者は品目を絞って大量に出すというやり方。その場合でも値段の上がり下がりが激しく、大手流通会社の下請けのようになってしまう。これからの有機農業、提携の方法を模索しているが糸口が見えない。市島では他の農家が何を作っているか、お互いに知らない。情報交換のシステム作りを検討しているのだが……」（橋本）。

「求める会と市有研が協力して、若い生産者とパネルディスカッションのようなものを開いて、意見交換してはどうだろうか」（大谷）。

また、他の出席者からは「求める会会員としてできることはないかと考えて、兵有研会員になったが、会員数が少ないことに驚いた。せめて求める会の会員が年会費 3000 円を出して兵有研会員になってほしい」、「今までのやり方に固執せず、信頼関係を保ちながら、そのつど、やれることを続けていけばいいと思う」などの意見が出されました。

有機農業の在り方、提携の在り方について、生産者と消費者がもっと話し合うことが必要だと考えさせられた地域集会でした。  
(亀井町G 今田 裕子)

## 中地区（灘、東灘、中央、北・兵庫・長田地区）

3月2日（金）10:00～12:00 神戸学生青年センター

【参加者】市有研：一色さん、大谷さん

求める会：大野（代表）、飛田・小浦（鶴甲団地）、茂松・岩花・岡部（センター）、山崎（赤松町）、鹿島（親王塚）、岡（西山町）、松島（藤原台）、明松・花岡（都由乃町）

\*大谷さんにお聞きしました。

市有研に入り、農業を始めて23年になりました。体力的なこともあり6月で退会しますが、農業は続けていくつもりです。アスパラガス、イチジクを植えました。野菜も作りますが、大量には出来ないと思います。卵は橋本さんをお願いしました。去年から今年は天災、獣害が続き、収穫が出来ず大変な年でしたが、これからも頑張りたいと思っています。

\*一色さんにお聞きしました。

高校の時に市島に有機の研究会の立ち上げがあり、その後、父と一緒にシイタケ、米などを作り、配送などをしていました。畑も野菜を作るにはまだ不十分だったので、石を取り除き畑を広げて野菜作りをしました。途中で何度か挫折感も抱きましたが、やはり作ることの楽しさがあり、野菜を待っていてくれる消費者のあることが励みになっていたと思います。昨日、還暦を迎え、これからの自分の在り方も考えました。これからは今までの野菜のほかに自分の作りたい新しい野菜を作り、楽しみながら続けて行きたいと思っています。

最近のダイコンサルハムシは葉だけでなく、大根までかじるようになり、駆除が大変なようです。そのあと、市島の集落の実態、今の有機野菜の流通、現代の若者の食に対する感性などをお聞きし、時間が足りないくらいでした。

(都由乃町G 花岡桂子)





## 4月のカレンダー



- 4月1～2日(月) 菜の花まつり  
影山製油所訪問
- 4月11日(水) 部会
- 4月18日(水) 全体会
- 4月20日(金) 自動引き落とし日  
共同購入申込締切日
- 4月25日(水) 食料環境セミナー

### 4月全体会検討議題

- 今後の会の進め方について(あしの会との取り組み)
- 5月19日の総会の持ち方について
- 会計監査報告
- 日有研 提携=PGSについて

### 総会について

求める会総会は5月19日(土)です。予定に入れておいてください。5月の全体会はありません。

3月号のニュース4面に間違いがありました。3月、4月のセミナーの後の事業部の販売は、古本市のためお休みになります。全体会後の販売は通常通り行います。

## 福島支援

### 「のびのび園」から「いわきの初期被曝を追及するママの会」へ

6年余り支援してきた「のびのび園」に代わって、「いわきの初期被曝を追及するママの会」が子どもの環境の測定をしたり、いわき市と被曝防護のための対策を熱心にされていることを知り、求める会は4月から支援をすることにしました。

ママの会には「TEAM ママベク子どもの環境守り隊」と「ママ cafe かもみーる」があり、二つの運動を連動させながら子どもたちの追加被曝防護をめざしておられます。市民が汚染の実態を確かめ、被害を証明しなければ被曝防護の問題は簡単に幕引きされてしまうことなど、現実と向き合う中でこの社会の理不尽さを痛感されています。

求める会としてはささやかな励ましの気持ちを表わすくらいの支援ですが、低線量被曝が長期的な問題であると認識することが大切だと思っています。(学習研究部)

※6月の食料環境セミナーの講師として、代表の千葉由美さんが来られることになりました。是非ご参加ください。なお3/16のカフェに間に合うようにリンゴ10kgを送付しました。

### 隔週配送について

野菜の端境期による隔週配送が3月最終週から始まっています。すでに配送表をお配りしていますので、配送日を確認してください。5月の第1週目まで続く予定です。

野菜の補充のため「あしの会」の生産者より、無農薬・無化学肥料の野菜が2、3品入る予定です。

### お願い

3月は決算月でしたが、毎月残高不足で引き落としができない方が何人かあります。引き落とし日(毎月20日、休業日の場合は翌日)までに必ず入金をお願いし

### 食料環境セミナー

#### 「放射能汚染から8年目へと向かう ～放射能を学び、福島の今を知る～」

「測定から見える放射能汚染」

4月25日(水) 10:30～12:00

阪神・市民放射能測定所

代表 安東 克明さん

会場：神戸学生青年センターホール

参加費：600円

主催：(公財)神戸学生青年センター